



# 多職種連携のためのファシリテータ方法

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻

小川 孔美 准教授

【研究分野】 高齢者福祉、高齢者虐待防止、専門職連携教育&専門職連携実践  
 【キーワード】 地域包括ケアシステム、サロン、成年後見、意思決定支援  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=202oga>



## 研究概要

日々日常的に行われる退院前カンファレンス、術前術後カンファレンス、サービス担当者会議などの各種カンファレンス、会議におけるファシリテーションはなくてはならないスキルと言えます。

ファシリテーションスキルによる合意形成のステップにもとづく議論の活性化と、プロセス支援のための研究、教材開発に取り組んでいます。

## 研究紹介

専門職連携実践に必要なファシリテーションスキル研修開発と効果の検討

## 講座テーマ紹介

### 〔一般講座〕

「地区サロン運営におけるファシリテーション」  
 「住民、参加者一人ひとりをいかした運営のためのファシリテーション」

### 〔専門職講座〕

地域包括支援センター、医療と介護の連携窓口、介護福祉施設、介護支援事業所等との連携による研修会、運営、企画  
 「会議参加者の意見が引き出せないと思ったときのファシリテーション」  
 「時間内にまとめられない！一困ったときのファシリテーション」  
 「苦手な人がいると思ったときのファシリテーション」  
 「ファシリテーションって何だろうーその役割とは」

## アピールポイントなど

自治体における「地域包括ケア推進代表者会議 顧問」「地域包括支援センター運営協議会委員」「地域福祉計画審議会 会長」等にて、地域の実情把握、課題検討を行っています。

自治体だけでなく民間企業、NPO等との連携も大切にしており、政策や課題解決に関する共同研究のお誘いをお待ちしております。